

# 会 議 録

会議の名称	令和3年度 第1回豊中市公共施設等有効活用委員会		
開催日時	令和3年(2021年)12月10日(金) 10時00分~12時00分		
開催場所	豊中市役所第一庁舎4階 第1会議室	公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可
事務局	都市経営部 創造改革課	傍聴者数	0人
公開しなかった理由			
出席者	委員	○公共施設等有効活用委員会委員5名 勝原小夜里委員・木多道宏委員・佐野こずえ委員・深澤俊男委員・和田聡子委員 (五十音順)	
	事務局	榎本部長・岩佐課長・橋本主幹・松原係長・橋爪主査・上保主事	
	その他		
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 豊中市公共施設等総合管理計画について</li> <li>2. 南部地域活性化に向けた取り組み状況について</li> </ol>		
審議等の概要 (主な発言要旨)	別紙のとおり		

審議等の概要（主な発言要旨）

発言者	内容
<開会>	
<成立要件の確認>	
事務局	豊中市公共施設等有効活用委員会規則第6条第2項に基づき、委員会は、委員の過半数の出席を必要としている。本日は、委員総数6名中、5名の委員の出席があり、成立要件を満たしている。
<案件1. 豊中市公共施設等総合管理計画について審議>	
事務局	(資料1に基づき説明)
委員	資料9ページ、包括施設管理の導入について実際にはどのように進めているか。
事務局	統括する受託事業者をプロポーザルで決定し、今年度から導入に向けた内部調整を進め、10月から業務を開始している。
委員	何例あるか。
事務局	小中学校、こども園、本庁舎、集会施設など、149施設を対象に実施している。統括は1社が行っている。
委員	民間でも同じような話はあるが、なかなかうまくいかないことが多い。試行錯誤しながらになると思うが、どういうプランで進めているか。
事務局	指定管理施設については包括施設管理の対象から省いている他、個別に長期の契約がある施設については当初の対象から省く等、調整しながら進めている。
委員	全てを同時に進めることは困難。優先順位を決めて進めることが必要。
委員	資料9ページの包括施設管理の効果について、口頭での説明で資料に記載がなかったが、市内事業者育成の観点是非常に重要な視点。資料4ページのマネジメントの基本方針でも公民連携の促進がうたわれているように、市内事業者育成をもっと強調して言及した方がよいのではないか。市内事業者を育成することで将来の法人税収入の増加などが見込めるのではないかと。大規模事業者が下請けで市内事業者を入れることも考えられる。
事務局	先行して包括施設管理を導入した他市の事例からは、市内事業者を締め出しに繋がってしまうのではないかと、という懸念があった。そのため、豊中市では公募の要件に市内事業者育成の観点を取り入れている。
委員長	資料10ページのPDCAサイクルについて、数値目標も重要だが、施設の適正な配置など質についてもよく考えたほうがよい。地域社会の実態に合わせた減らし方や再編方法などについても評価項目に意識して入れてはどうか。
事務局	財政的には延床面積を減らしていかなければならない。一方で、集約する際に、いかに施設を市民にとって魅力的なものにするかなど、施設の充実についてもめざすべきと考えている。評価のしかたについては今後検討していきたい。

発言者	内容
委員長	施設をつなぐ動線や周辺環境整備など、使いやすい施設となるように意識したほうがよい。
委員	ユニバーサルデザイン化の推進方針について、必要な方に必要な情報が届くことが重要。方針を示す際、そのことについても盛り込めないか。例えば、車いすの方に多目的トイレがあるという情報だけでは不足。どういうものがあるか、写真などもあればよい。
事務局	ハード面の整備も重要だが、市民に使っていただけるようソフト面での周知についても必要と考える。
委員	資料 8 ページのセーフティネット機能の公民の役割分担について、現在はどこに意見を言えば助けてもらえるのかわかりづらい状況。困っているときに相談する窓口がわかりやすくなればよい。
事務局	どこにどういう施設や相談窓口があるか、という情報が見やすくなっていない点については、市民視点にたって情報発信をしていきたい。
委員長	ご指摘いただいた意見を反映していただける機会はあるか。
事務局	現在、改定案を作成中であり、今回のご意見についても反映したものを市民に示したいと考えている。
<b>&lt; 案件 2 . 南部地域活性化に向けた取り組み状況について &gt;</b>	
事務局	(資料 2 に基づき説明)
委員	魅力向上事業、今後の波及効果などとても期待している。 サウンディングについて、不動産開発事業者については、3 校すべてを全体で利活用する提案ではなく 1 校を単独で利活用する提案か。
事務局	不動産開発事業者の提案は 1 校単独で利活用する提案。運営事業者は 3 校を一体的に利活用する提案があった。
委員	物流関係からのアプローチはなかったか。
事務局	サウンディングではそのような意見はなかったが、サウンディング時以外で物流や工業の利活用について問い合わせがあった。
委員	住工混在という地域柄を考えると、物流などの可能性があると思われる。 また、藤井寺市が災害時に物流施設を一時避難所とするというプランがある。このようなアプローチであれば、使い勝手の悪い土地であっても利活用できるのではないか。今の物流施設はひと昔前のものと異なりスマート化している。
事務局	学校跡地の利活用について、4 つの要素を取り入れることとしている。ただ、4 つの要素以外とかけあわせた複合的な利活用も検討していきたい。
委員	商業施設を併存させた複合的な施設もよいのではないか。
委員	魅力向上事業の社会実験検証について、アンケート結果を公表するか。

発言者	内容
事務局	報告書としてまとめ、開示する予定。
委員	社会実験について、周知・PRの方法はどのようにしたのか。 資料 8 ページのスキな音楽をシェアする駅前通りについて、具体的に教えてほしい。
事務局	周知については、広報誌や SNS などを使った。また、南部地域の小中学校にもチラシを配布した。 スキな音楽をシェアする駅前通りについて、演奏場所は 3 か所設け、演奏時間は 1 組 20 分程度とした。3 か所で音が重ならないよう時間をずらして演奏してもらった。演奏者がいない時間帯は音楽を流すなど、音楽あふれる通りとなるよう社会実験を行った。
委員長	学校跡地の利活用というハード面と社会実験というソフト面が連動した重要なスキームが作られていることがわかった。 社会実験の発想は豊中市単独のものか、アドバイザーがいたのか。
事務局	今回の事業は委託している。市職員と委託事業者が地域の事業者や活動しているプレイヤーに声掛けを行い、地域の方を巻き込みながら社会実験を実施した。今回の社会実験を通して、今後地域の方が自発的に何かできるようなきっかけとなればよい。例えばストリートミュージックでは、場所や手続き等のスキームを示すことができたと考えている。
委員	スキな音楽をシェアする駅前通りについて、ストリートミュージシャンが演奏しやすいように、フリーゾーンを常設できないのか。
事務局	今回は交通管理者の許可のみでよかったが、道路に設置物を置くなど常設となれば、道路管理者の許可も必要となる。今後検討を進めていきたい。
委員	「事業」と言ってしまうと市民がひいてしまう懸念がある。市民への示し方については、人が集まりやすいように検討すべき。
事務局	市民向けに広報する際は、「イベント」といった市民が魅力的に感じる取り組みとなるよう情報発信する。
委員	当日参加したが、まちごと暮らスクールのチラシや会場設営などのセンスがよかった。こどもも楽しめるイベントであった。チラシや SNS などの見せ方が重要。今後もこのようなイベントを実施していくこと、様々な出し物などの展開も期待する。
事務局	地域の方との連携を意識し、次年度以降の展開についても検討する。
< 閉会 >	